

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

平成28年7月20日

契約担当役

国立大学法人福井大学財務部長

平 田 博 教

1 工事概要

- (1) 工 事 名 福井大学（文京）事務棟耐震改修その他工事
- (2) 工事場所 福井県福井市文京3丁目9番1号 福井大学文京団地構内
- (3) 工事内容 事務棟（RC3）の耐震補強（改修延べ面積1,410㎡）、模様替（改修延べ面積468㎡）
- (4) 工 期 契約締結の翌日から平成29年2月28日まで
- (5) 本工事は、簡易な施工計画等の提案について記述した、競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）を受け付け、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式（簡易型）の工事である。
- (6) 本工事は、資料の提出及び入札等を電子入札システムにより行う対象工事である。電子入札は、文部科学省電子入札システムホームページ(<https://portal.ebid.mext.go.jp/top>)の電子入札システムにより行う。なお、電子入札によりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に変えることができる。

2 競争参加資格

- (1) 国立大学法人福井大学契約事務取扱要項（以下「契約要項」という。）第6条の規定に該当しない者であること。
- (2) 文部科学省における建築一式工事に係る平成27・28年度のA等級、B等級又はC等級の一般競争参加資格の認定を受けていること。（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後に一般競争参加資格の再認定を受けていること。）
- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（(2)の再認定を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 平成13年度以降に、元請けとして完成・引渡し完了した次の基準を満たす耐震補強工事を施工した実績を有すること。（共同企業体の構成員としての実績は出資比率20%以上の場合のものに限る。）
 - (ア) 建物用途 校舎、研究施設、病院、図書館、その他公共施設

(イ) 建物構造 R C造、S R C造又はS造の耐震補強

(ウ) 工事種目 建築一式工事

- (5) 次に掲げる基準を満たす主任技術者又は監理技術者を当該工事に専任で配置できること。
- ① 1級建築施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。
 - ② 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること
 - ③ 配置予定の主任技術者又は監理技術者にあつては直接的かつ恒常的な雇用関係が必要であるので、その旨を明示することができる資料を求めることがあり、その明示がなされない場合には入札に参加できないことがある。
- (6) 施工計画（簡易型）が工事の特徴を踏まえて適切であること。
- (7) 工事成績相互利用登録発注機関が発注した建築一式工事のうち、平成26年度以降に完成した工事の施工実績がある場合においては、当該工事にかかる工事成績評定の評定点合計の各年度の平均が、2年連続65点未満でないこと。
- (8) 文部科学省、所管独立行政法人及び国立大学法人等に対し、平成26年度以降に完成・引渡しを行った工事目的物で、引渡し後に、工事の品質に関わる重大な問題が発生した事例がないこと。
- (9) 競争参加資格確認申請書(以下「申請書」という。)及び競争参加資格確認資料(以下「資料」という。)の提出期限の日から開札の時までの期間に、文部科学省から建設工事の請負契約に係る指名停止等の措置要領(平成18年1月20日付け17文科施第345号 文教施設企画部長)(以下「指名停止措置要領」という。)に基づく指名停止を受けていないこと。
- (10) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受託者（協力を受ける他の建設コンサルタント等を含む。以下同じ。)又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (11) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係のある者すべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く（入札説明書参照））。
- (12) 警察当局から、暴力団員が実質的に営業を支配する建設業者又はこれに準ずる者として文部科学省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

3 総合評価落札方式に関する事項

(1) 総合評価落札方式の仕組み

本工事の総合評価落札方式は、評価項目ごとの最低限の要求条件を満足する場合に標準点を与え、さらに、提出された資料の内容に応じ加算点の配点を行い、合計得点と入札価格から評価値を算出し落札者を決定する方法である。なお、標準点は100点とし加算点の最高は32点とする。

その概要を以下に示すが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については入札説明書による。

(2) 評価項目

以下に示す項目を評価項目とする。

①企業の技術力

- ・ 施工計画（簡易型）
 - ・ 企業の施工能力
 - ・ 配置予定技術者の能力
 - ②企業の信頼性・社会性
 - ・ 法令遵守（コンプライアンス）
 - ・ 地域精通度
- (3) 評価の方法及び落札者の決定
- 入札参加者の技術提案による評価項目を評価し、評価値 = {(標準点 + 加算点) / (入札価格)} の最も高い者を落札者とする。落札の条件は、次のとおりとする。
- ・ 入札価格が予定価格の制限範囲内であること。
 - ・ 評価値が標準点（100点）を予定価格で除した数値に対して下回らないこと。
- (4) (3)において、評価値の最も高い者が2人以上いる場合は、当該者にくじを引かせて落札者を決定する。

4 入札手続等

- (1) 担当部局
- 〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3
国立大学法人福井大学財務部施設企画課施設総務係
TEL 0776-61-8654
- (2) 入札説明書の交付期間、場所及び方法
- 交付期間 平成28年7月20日～平成28年8月1日まで
交付方法 文部科学省電子入札システムホームページの本件調達案件概要の添付資料により交付する。なお、電子入札によりがたいものは、(1)で交付する。
入札説明書の交付は無料とする。
- (3) 申請書及び資料の提出期間、場所及び方法
- 平成28年7月20日から平成28年8月1日までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日9時から17時まで（ただし、最終日は12時まで。）に「持参する書類の目録（様式任意）」のみを電子入札システムに添付し手続きを行い、提出書類（紙及びデータ）は上記日時までに(1)に持参又は郵送すること。また、発注者の承諾を得て紙入札方式で参加を希望する者も上記日時までに(1)に持参すること。（この場合、郵送・電送（ファクシミリ）による提出は認めない。）
- (4) 見積りに必要な図面等の交付期間、場所及び方法
- 平成28年8月10日～平成28年8月29日まで
入札説明書に附属の図面等購入案内に従って購入すること。
- (5) 入札及び開札の日時及び場所並びに入札書の提出方法
- 入札書は、平成28年8月29日12時までに、電子入札システムにより提出すること。また、紙入札参加希望者は(1)に郵送又は持参すること。（郵送の場合は、平成28年8月28日17時必着とする。）電送（ファクシミリ）による提出は認めない。
開札は、平成28年8月30日9時30分国立大学法人福井大学管理棟3階環境整備課会

議室において行う。

5 その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 入札保証金及び契約保証金
 - ①入札保証金 免除
 - ②契約保証金 納付
- (3) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者が行った入札、申請書又は資料に虚偽の記載をした者の入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。
- (4) 落札者の決定方法

落札者の決定は、競争参加資格の確認がなされた者の中で上記3（3）の評価方法で決定するものとする。具体的には入札説明書による。

ただし、落札予定者が当該契約の内容に適合した履行がなされない恐れがあると認められるとき又は、その者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱す恐れがあり、著しく不相当であると認めた場合は、予定価格の制限の範囲内で入札した者のうち、最も評価値の高い者を落札者とすることがある。
- (5) 配置予定監理技術者等の確認

落札者決定後、CORINS等により配置予定の監理技術者等の専任制違反の事実が確認された場合には、契約を結ばないことがある。なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合の外は、申請書の差替えは認められない。
- (6) 契約書作成の要否 要
- (7) 関連情報を入手するための窓口 上記4（1）に同じ。
- (8) 一般競争参加資格認定を受けていない者の参加

上記2（2）に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記4（3）により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、書類提出時に当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (9) 詳細は入札説明書による。